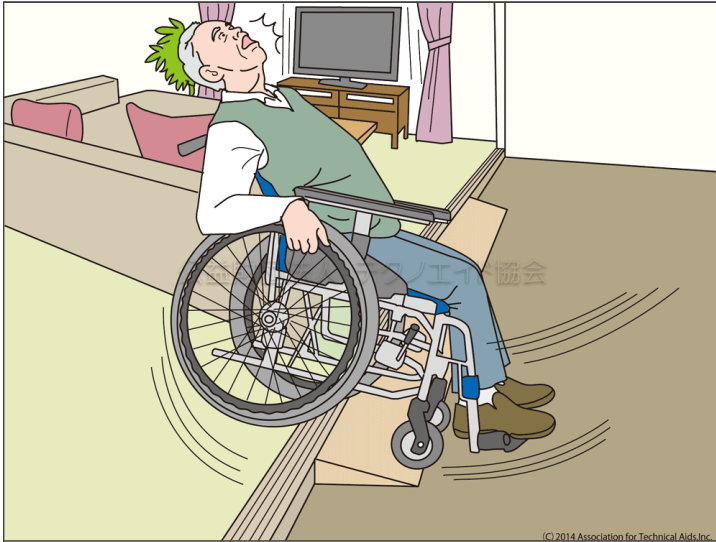





Case : 307

段差スロープを強引にバックで上がろうとしたところ、横方向に転倒しそうになる

場面の説明

車いす後輪から段差スロープに斜め方向から昇ろうとしていた。普段から勢いをつけて越えないと登れないので、その時も強引に行ったが、横斜め方向に転倒しそうになった。転倒防止装置は装着していたが効かなかった



利用シーン	 移動
主な利用場所	 段差・縁石
介護保険の種目	 スロープ
分類コード (CCTA95)	183018 (固定用スロープ)
介護テクノロジー	—
二次元バーコード	

解説

「勢いをつけて」「強引に」といった動作で事故が起こることが多くあります。特にスロープでは、介護者や本人の体力の限界ギリギリを前提とした環境設定が誘因となっているケースが多く見られ、事故予防には、本人や介護者の体力を踏まえ、余裕を持った動作で活動できる環境設定が大切です。

参考要因（要因の例であり、これだけが正解ということではありません）

- 人：慣れていたので、まさか転倒するとは思っていなかった
- 人：転倒防止装置を過信していた
- 環境：段差スロープの角度が急だった

日付：	所属：	氏名：
-----	-----	-----

Case : 307

段差スロープを強引にバックで上がろうとしたところ、横方向に転倒しそうになる

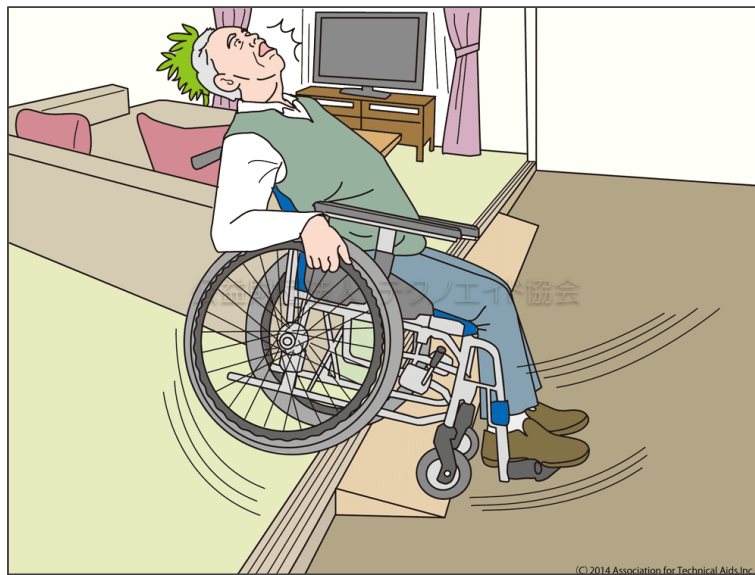
事例詳細



回答前に見ないこと

場面の説明

車いす後輪から段差スロープに斜め方向から昇ろうとしていた。普段から勢いをつけて越えないと登れないので、その時も強引に行ったが、横斜め方向に転倒しそうになった。転倒防止装置は装着していたが効かなかった



どのような要因が考えられますか？	どのような対策が必要でしょうか？
人（本人・介護者・関係者）の要因	
モノ（福祉用具）の要因	
環境の要因	
管理の要因	

メモ